

薬学研究入門

責任者・コーディネーター	創剤学分野 佐塚 泰之 教授		
担当講座・学科(分野)	構造生物薬学分野、創薬有機化学分野、天然物化学分野、衛生化学分野、機能生化学分野、薬学教育学分野、情報薬科学分野、生体防御学分野、分子細胞薬理学分野、創剤学分野、薬物代謝動態学分野、神経科学分野、分析化学分野、臨床医化学分野、薬剤治療学分野、臨床薬剤学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	1, 2, 3	区分・時間数	実習 21 時間
期間	通期		
単位数	0.5 単位		

・学習方針（講義概要等）

薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を身に着けるために、薬学実習、卒業研究を実施するが、低学年の早い段階から学年進行に伴う様々な専門科目に立脚した研究を遂行することは可能である。いずれかの専門分野において基礎的な技能・知識を学習し研究を遂行することにより、研究に対する主体性と実施能力を身につけ、その後の薬学実習、卒業研究の基盤とする。

・教育成果（アウトカム）

薬学部のあるいずれかの講座の指導のもと、専門分野での研究に触れ実施することにより、薬学実習、卒業研究の基盤となる技能、知識が形成されるとともに論理的な思考が養われる。
(ディプロマ・ポリシー：7)

・到達目標（SBO）

1. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。(☆)
2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。(☆)
3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(☆)
4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(☆)

・成績評価方法

選択した講座の指導に基づき、研究を遂行し、提出されたレポートにより評価する。

・特記事項・その他

事前に本実習の実施を希望する講座の教授に相談し、許可を受けた上で履修申告すること。なお、開講時期、時間は各講座の指示に従うこと。